

## 第 7 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 7 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和 7 年 11 月 12 日（水）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所	天沼中学校 視聴覚室
出 席 者	懇談会委員 18 名（欠席 3 名）
傍 聴 者	2 名
次 第	1 第 6 回天沼中改築検討懇談会での主な意見について 2 新校舎の配置計画及び平面計画について
資 料	資料 1 第 6 回天沼中改築検討懇談会配置案に関するご意見 資料 2 第 6 回アンケートでのご意見等について 資料 3 オープンハウスでのアンケート結果 資料 4 校舎配置案ごとの平面図 資料 5 校舎配置案ごとのステップ図 資料 6 校舎配置案ごとの日影図 資料 7 校舎配置案ごとの特徴比較

進行役	<p>それでは皆さん、こんにちは。お疲れさまです。ご多用のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。遅れていらっしゃる方もおりますが、第 7 回の天沼中学校校舎改築検討懇談会を始めたいと思います。</p> <p>今日は、ご多用の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は 1 名の委員からご欠席の連絡を連絡いただいています。</p> <p>本日は、正午に閉会の予定になっておりますので、円滑な進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の資料の確認と懇談会の流れについて、事務局からご説明をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、お手元の資料を確認させていただきたいと思います。本席上配付しました資料から説明させていただきたいと思います。</p> <p>席上に配付した資料が幾つかございます。参考資料としてさざんかステップアップ教室の資料をステープラー留めしたものが 1 枚。これは追加で配付させていただいております。</p>

それと資料 6 と書いたものが合計 3 枚あるかと思います。1 枚は冬至の日のものでピンク色の影が入っているものが 1 枚、それと夏至の日の影を示した資料が 1 枚、それと春分・秋分の日影を落とした資料が 1 枚。資料 6 は合計 3 種類あります。こちらのほう、お手元にありますでしょうか。

それと資料 7「校舎配置ごとの特徴比較」が置いてあるかと思います。

資料 6 と資料 7 につきましては、先日資料をお送りしておりますけれどもそちらと差替えをお願いしたいと思います。先日お送りしたものからバージョンが変わっておりますので、大変申し訳ありませんけれども、先日お送りした資料 6 と資料 7 は破棄をしていただければと思います。申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

先日お送りした資料につきましては、次第から始まりまして資料 1 から資料 7 のものをお送りしております。資料の漏れですとか落丁、乱丁等ございましたら職員にお声がけいただければと思います。皆様、資料は大丈夫でしょうか。

資料の確認はこれで終わりたいと思います。

それと、いつものようにアンケート用紙と本日の席次表をお送りしております。

資料は以上でございます。

続いて、本日の会の流れについてご説明させていただきたいと思います。

まず前回の主な意見と、10 月 18 日、20 日に実施しましたオープンハウスの結果についてご報告させていただきます。

次に、校舎の配置計画と平面計画ですけれども、設計事務所から資料 4 から資料 6 までのところについて前回から修正してもらった点等を中心に説明してもらおうと考えております。

そして、資料 7 を使いまして校舎配置案ごとの特徴比較を私から説明させていただきまして、事務局としての考えを皆様にお伝えしたいと思います。事務局の考えにつきまして質疑を行った後、懇談会委員の皆様にご了解いただきますれば、その校舎配置案の平面図について意見交換するということに進んでいきたいと思っております。

本日の目標、目当てといたしましては校舎の配置案を 1 案に決めるということと、その後、平面計画についてさらにブラッシュアップさせていくための意見、アイデアを出していきたいというところでございます。

	<p>私からは以上でございます。</p>
進行役	<p>資料等の確認ありましたけれども、皆さん大丈夫でしょうか。</p> <p>それでは、次第の1番「第6回天沼中改築検討懇談会での主な意見について」ということで、事務局のほうから説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>そうしましたら皆様、資料1を御覧いただきたいと思います。</p> <p>資料1は、前回の懇談会で行いましたワークショップでの主な意見として皆様に付箋でご意見等を記載してもらいまして模造紙に貼ってもらいましたけれども、その意見をまとめた資料となっております。</p> <p>A案からD案までのメリット、デメリットの紹介については省略させていただきますけれども、各班の発表等を聞いておりまして、A案が最もいいかなという意見を頂いたと思っております。</p> <p>次に多かったのがB案。</p> <p>D案につきましては、校庭が広く取れますけれども工期や校庭への車両動線などの課題が多いとのご意見を頂いておりました。</p> <p>そのほかとして、基本方針についてのご意見や適応指導教室の配置など平面計画に関するご意見を頂いております。仮設期間中の教育環境についてもっと知りたいというご意見もございました。</p> <p>これらにつきましては、後ほどまた工事の計画と比較する中でお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、資料2でございますけれども、前回のアンケートについてでございます。こちらでも適応指導教室につきましてはですとか災害時の対応、工事期間中の仮設校舎の状況、平面計画について、また学びのプラットフォームについてのご意見などを頂いております。</p> <p>次に資料3ですけれども、10月18日土曜日と20日月曜日に開催しましたオープンハウスについてのご報告でございます。</p> <p>来場者数は2日間で延べ78名の方がいらっしゃいました。アンケートに回答いただきましたのは38名で内訳は記載のとおりでございます。近隣の方が17名ご来場されてアンケートに回答いただいたことは大変ありがたいと思っております。また、入学予定の方からもアンケート等を頂いております。</p> <p>中身でございますけれども、校舎の配置案についてのご意見では、どの案につきましても賛成の方やどちらかというと反対という方がいらっしゃいました。</p> <p>校舎、教室、校庭への日当たりですとか、校庭の広さ、使いやすさについてのご意見ですとか、ご自宅への日当たりや音、砂ぼこり、生徒の</p>

	<p>動線などの影響から校舎配置への意見を寄せられた方もいらっしゃいます。</p> <p>そのほかのご意見としては、工事期間中の生徒の教育環境、周辺への音や振動、砂ぼこりといったものへの対応を求める意見も頂戴しました。</p> <p>また、さざんかステップアップ教室の配置、プールや校庭、防災機能のことですとか、今後の情報提供、検討の進捗状況の地域の皆様への情報提供等につきましての意見をいただいております。</p> <p>オープンハウスの当日は、来場者お一人お一人にお声かけをしながら必要に応じまして質問に答えたり、模型を囲んで説明をしたり、意見交換をさせていただきました。時には数組の参加者が模型を囲んで意見交換するような場面もありました。</p> <p>そうした説明等によって現時点の懇談会での改築の検討状況というのを来場者の皆様に理解を深めていただいたものと考えております。</p> <p>今後も節目節目に改築ニュース等を発行するなど情報提供していきたいと考えております。</p> <p>私から資料1から資料3までまとめてご報告させていただきました。以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて次第2の「新校舎の配置計画及び平面計画について」となります。それでは、事務局と設計事務所からのご説明となります。</p> <p>まず、事務局お願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>最初に設計事務所から資料4から資料6について、前回から修正した点ですとか各案の特徴など説明をしていただきたいと思います。そこまで終わったところで、今度は教育相談担当から、さざんかステップアップ教室の諸元について説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、設計事務所のほうから資料4から6の説明をお願いします。</p>
設計事務所	<p>皆さんおはようございます。相和技術研究所です。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず資料4の「校舎配置案ごとの平面図」について前回からの変更点を中心に簡単に説明させていただきます。</p> <p>まず1番、A案につきましては、改築校舎延べ面積は約9,050平米に変更されております。校庭面積は約4,010平米。前回とほぼ変わらずとなっております。適応指導教室を今回北側へ変更配置しまして、ポリュ</p>

ームとしましては2階建てとすることで、小学生と中学生の適応指導教室内部での活動がなるべく重ならないように今回配慮させていただきました。また、前回の平面プランよりも体育館や特別教室へのアクセスがしやすくなった計画となっております。

それに係りまして適応指導教室を北側に移動したことによりましてもう1つ変わったところは給食室が南側に移動します。

次は平面の各階中心部にまとまったサロンスペースというオープンスペースを設けることで、学校活動や地域活動を含む多彩で多様な活動に対応できるように配慮いたしました。

また、職員室を、前回1階にあったのですが、2階に移動配置することによりまして、1階部分を地域開放できる特別教室などを配置できるようになります。

また、外回り校庭は、前回125メートルトラックだったのですが、A案につきましては150メートルトラックを確保できるように配置を変更しております。

簡単にA案の変更点は以上になります。

続きましてB案についてです。改築校舎延べ面積は約9,030平米に変更されています。校庭面積は約3,150平米。こちら大幅に減っているのですが、北側の生徒昇降口から校庭までのルートの確保が必要でして、そちらを考えたときに建物配置を南に移動したために校庭面積が前回よりも狭くなっています。

また、A案と同様に職員室を1階から2階に変更しておりまして、1階部分に地域開放できる特別教室が配置できるようになっております。前回より2階、3階の特別教室の配置を調整しまして、普通教室を全て南面、校庭面に集約しています。

また、各階にA案と比べると小規模なのですが、サロンスペースを設けることで、学校の多様な活動に対応できるようにと考えております。

続きましてC案を説明させていただきます。改築校舎延べ面積は約9,080平米。こちらが増となっております、校庭面積は約3,900平米となっております。

A案と同様に職員室を1階から2階へ移動して、1階部分を地域開放できる特別教室等を配置しております。また、南側の開放用の出入口を新しく設けまして、開放の出入口は独立した形で明確に分けるように変更しました。

C案の特徴としましては、普通教室が校庭に面しない点となっております。また、B案と同様、各階にサロンスペースを設けて多様な活動に対応できるようになっております。

以上が資料4「校舎配置案ごとの平面図」についての説明となります。

引き続き、資料5「校舎配置案ごとのステップ図」について、前回からの変更点を中心に説明させていただきます。

前回A、B、C、D案とあったのですが、今回A、B、C案に絞った形でレイアウト変更させていただいております。

その中でA案、B案につきましては、前回から校舎面積、校庭面積以外は前回からステップ図関係につきましては特に変更はございません。

C案につきましては、ステップ1の先行解体の範囲に、前回、適応指導教室が入っていなかったのですが、こちらが入っている校舎部分を仮設体育館建設ヤード確保のために範囲を広げて追加しております。

こちらが主な変更点となっております。

続きまして資料6「校舎配置案ごとの日影図」も前回からの変更点を中心に説明させていただきます。

今回は冬至日、夏至日、春・秋分、3枚に分けて資料をご用意いたしました。その中で一番日影の影響範囲が大きい形になります冬至日につきまして簡単に説明させていただきます。

今回各案ともお示ししました修正の平面プランに合わせまして校舎形状を多少変更しております。用紙左上が現況校舎の周辺に落とす8時から16時までの日影図になりまして、用紙右上がA案、左下がB案、右下がC案の改築後校舎の8時から16時までの日影図になります。

また、各案ともに点線で現況校舎の日影図と重ね合わせまして、現況日影から広がる範囲につきましてはピンク色で着色しました部分が各案ともに既存校舎と比べて日影が広がる範囲となっております。

簡単にA案から説明させていただきます。A案につきましては8時に北西方向に大きな範囲で、次に16時北東方向に日影の範囲が広がる計画となっております。また、9時の北西方向にも一部日影の範囲が広がる箇所があります。

続きましてB案になります。B案につきましては、8時に北西方向と16時に北東方向に大きな範囲で、次に16時に南東方向に日影の範囲が広がる計画となっております。また8時、10時、あとは12時から14時に北側につきましても一部日影の範囲が広がる箇所がある計画となってお

	<p>ります。</p> <p>続きまして最後C案です。こちらにつきましては16時に北東方向と南東方向に大きな範囲で日影の範囲が広がる計画となっております。また8時南側、北側、あとは15時に北方向に一部日影の範囲が広がる箇所がある計画となっております。</p> <p>簡単に日影の種類につきましては、こちらで説明とさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ここまでのところは皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>資料7の説明に入る前にさざんかステップアップ教室の諸元について確認させていただきたいと思います。追加でお配りしました資料を御覧いただきたいと思います。</p> <p>説明につきましては担当課長から概略を説明いただきたいと思います。</p>
教育相談担当 課長	<p>改めまして、教育相談担当課長です。よろしくお願いいたします。</p> <p>前回ご質問いただいたときにどのくらいの広さなのかということで明確な答えができておりませんでしたので、それについて資料を基にご説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>皆様にお配りしました、さざんかステップアップ教室、現在の荻窪教室です。</p> <p>概要となりますが、広さについての部分だけ抽出してご説明いたします。現在主に使っている部屋をピックアップしております。</p> <p>教室が1部屋約64平米、相談室が32平米、そして先生方がいらっしゃる職員室が32平米。その他トイレや倉庫等々あるのですが、主に使っている部屋は3部屋になってございます。これはどこから取ったかというところと下にある平面図から抜き出してございます。</p> <p>裏面に移っていただきまして、天沼教室の現在の広さです。これも先ほどの荻窪教室と同様、日頃使用頻度の高い教室を抽出しております。</p> <p>教室が67.5平米、そして相談室が17.1平米、職員室が60.4平米となっております。その他パーテーションで仕切った個別対応用スペース等がございますが、主に頻繁に使っている諸室についてはその3部屋となっております。</p> <p>それぞれ、今お伝えしました3教室を合計しますと、荻窪教室は約128平米、天沼教室は約134平米となっております。</p> <p>2枚目を御覧いただきまして、新しく天沼教室、そして荻窪教室併設した際の施設の諸元表となっております。</p>

	<p>事務室と書いてあるのですが、これを職員室と読み替えていただいて30平米、教室64平米が2部屋で128、相談室10平米が2つで20平米、個別支援室30平米のものが1教室で30平米。これを合計しますと約208平米となつてございます。そしてこれが2教室分ですので、単純にその倍確保されているということで、その他諸々廊下や階段、トイレ等々を含めると諸元の段階では750平米となつてございます。</p> <p>先ほど設計事務所の方からご説明ありましたようにA、B、Cによって数値は若干変わりますが、現在使用している荻窪教室及び天沼教室よりは広く、そして多様な諸室を確保できるということになってございます。なお、この諸室につきましては今後実際にどういう造りがいいのかというのは関係者としっかり話をしながら進めていくという考えでございます。</p> <p>私からは以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど資料4の説明で各平面図について説明させていただいたところですが、設計事務所のほうでサロンのイメージのパース図を用意していただいたので、そこら辺の補足の説明をさせていただければと思います。</p>
設計事務所	<p>先ほどの平面図の補足説明をさせていただきます。説明が足らなくて申し訳ありません。</p> <p>主にA案につきまして、学校の中心、おへその部分にサロンスペースという空間を設ける計画としておりまして、こちらを学校の中心に配置しまして、多目的室ですとか図書室、特別教室と連携して多様な活動に対応する空間という形で提案できたらなと思っております。</p> <p>今日お持ちしているイメージですけれども小学校のプロポーザルで作成したオープンスペースのイメージパースになりますので、あくまで絵が小学生になってはいるのですけれども、空間としましては机を置いてグループワークをしたりですとか、語らいの場であったりとか、各々自分のお気に入りの場所を見つけて過ごせるような学校空間として、ただの通路、広いスペースではなくて学校全体が使っていけるような形で提案できたらなということで今回イメージをご用意させていただきました。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、また事務局から資料7「校舎配置案ごとの特徴比較」について改めて説明をさせていただきたいと思います。</p>



	<p>まず、項目としましては「校舎環境」という項目の「教室配置」についての比較でございます。資料４も併せて御覧いただきながらお聞きいただければと思います。</p> <p>まずＡ案でございますけれども、普通教室は２階と３階の校庭側に集約しております。東側の採光になります。日当たりはよいかなと思います。</p> <p>Ｂ案とＣ案につきましては、普通教室が南側の配置になります。採光は南側になります。こちらも採光については申し分ないのかなと思います。ただ、Ｃ案につきましては一部教室が東側と西側にあるため教室環境としては、ほかと比較をするということで「△」としております。</p> <p>Ｃ案の教室配置についてはオープンハウスの際に「教室からの視線が気になる」という意見が南側の住宅の方ですとか東側の方とかからご意見を頂いております。</p> <p>次に「適応指導教室」の項目でございます。</p> <p>Ａ案はアリーナの北側に２層としました。天沼中の生徒とは別の門を設置するなど学校生活エリアと重複することがないように配置しております。</p> <p>Ｂ案につきましては東門付近に別棟としました。この場合ですと中学生の生徒が校庭に出るときにその間の通路を通ります。また、適応指導教室の教室が校庭側に面しております。もしかしたら気になる子は気になるかもしれません。また、別棟になっているので、体育館とか特別教室へのアクセスという点では行きにくくなります。そのため評価としては「△」としております。</p> <p>次にＣ案ですけれども、体育館の東側に２層にして設定しています。体育館へのアクセスはお隣なのでとてもいいのですが、特別教室へは、この配置ですと行きづらいかなということで評価は「△」にしております。</p> <p>「動線・アクセス」につきましては、Ａ案で生徒が登下校するとき、北側、南側、東側の３方向から登下校することを想定しています。</p> <p>Ｂ案につきましては今、北側の１か所の想定になっております。</p> <p>Ｃ案につきましては北と南からの２方向から登下校ということを想定しております。</p> <p>Ｂ案、Ｃ案に共通して、東側からの動線というのも考えられますけれども、今、適応指導教室を東側に設定しておるので、その動線と重なるということと、北側の隣家からの距離が懸念されるところでございます。</p>
--	---

す。

次は大きな項目「校庭環境」でございます。

校庭の広さは、A案が一番広くて、4,130平米。今よりも130平米広くなります。

B案は3,550平米ということでマイナス450平米、今よりも狭くなる。

C案につきましては3,900平米で、現在よりもマイナス100平米となります。

B案は北側の建物の規制がある関係で建物が南にどうしても寄ってしまうということもあるので、校庭が狭くなってしまっております。

次に「日照」でございます。こちらは先ほど資料6を見ながら説明があったところですが、B案でいきますと校舎の日影は校庭には影響しません。

A案は校庭に午後影ができます。

C案の場合だと逆に午前中に影が生じます。

先ほども紹介しましたオープンハウスのときに南側の方から「南向きの校庭だと日当たりがよ過ぎて暑いのではないか」という意見もありました。

併せて「周辺環境」の「日影」という項目についても触れておきたいと思うのですが、A案では現在よりも西側と東側にいっている。北側で若干既存よりも日影の範囲が増えています。建物の形状が変わっていますので8時のラインで西側とか16時のラインで東側にそれぞれ大きくなっていますが、9時とか15時のラインと比べると現状よりも同じか若干改善しているところもあります。

B案ですと、西側、東側の一部で既存よりも日影の範囲が増えています。北側でも若干増えている部分がありました。

C案に行きますと東側の一部で既存よりも日影の範囲が増えています。西側と北側は若干増えているところがありました。

続きまして「校庭環境」のうちの「車両アクセス」の項目でございます。こちらは消防車両や将来の改修工事等の際の工事車両などを想定した項目としております。

A案につきましては北側、東側、南側の3方向から校庭へアクセスが可能になります。

B案につきましては南側1方向となります。東側から入って別棟との間を通っていくという経路も設定していただいておりますが、階高、天井の高さが約3メートルちょっとかなと考えますと、工事車両

	<p>ですとか消防車両が通り抜けるということは若干厳しいのかなというところでございます。そのため一応南側からのみということでこの比較表では表現させていただいております。</p> <p>C案につきましては北と南の2方向から校庭へアクセス可能でございます。</p> <p>続きまして大きな項目「周辺環境」の「学校へのアクセス」の項目についてですけれども、こちらも先ほどとほぼ同様ですけれども、B案について2方向となっております。こちらは南側の道路と併せて北側の道路もカウントしている関係でございます。</p> <p>学校敷地の西側が基本的には全て住宅に接しておりますので、西側に新たに道路ができるという可能性は極めて低いのかなと考えておりますので、そちら側に建物を建てることで南北と東側の接道を確保できるという点ではB案やC案よりもA案がよい点と言えるかもしれません。</p> <p>次に、「改築中の教育環境」でございます。</p> <p>仮設校舎等を使用する期間でございますけれども、A案では仮設校舎を40か月使用します。B案では32か月、C案の場合は既存校舎を活用することになっておりますので、こちらの場合は体育館を仮設で建てます。こちらが44か月の予定になります。</p> <p>次に「工事中の校庭」ですけれども、使用できる期間が一番長いのはA案になります。続いてB案で、最も短いのはC案となります。</p> <p>トータルの「工事期間」になりますが、A案とB案は72か月、C案は71か月となります。実際には引っ越しを長期休みに行うために新校舎を使用する時期は同じになるかと考えております。</p> <p>最後に「コスト」のところでございます。まだ試算の段階なのでA案を仮に「α」としました。B案と比較したときにはB案は2期工事となることなどからプラス6億円、C案につきましては仮設の規模が小さいことなどからマイナス4億円と試算をしておりますので、コストの順で言いますと、B案が一番コストがかかって、次にA案、C案が最も安く校舎が建つという順番になります。</p> <p>特徴比較につきましては以上でございます。</p> <p>以上を踏まえまして、事務局の考えにつきまして学校整備課長からお話しいただきたいと思っております。</p>
学校整備課長	<p>学校整備課長です。おはようございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>座ってお話しさせていただきます。</p> <p>私からこれまでの説明などを踏まえて、今後考えていくに当たっての</p>

区の所見といいますか、この配置案への評価、その辺りを最後にお話しさせていただければと思います。

資料7の比較表をちらちら見ながらお話を聞いていただければと思いますが、A案、B案、C案それぞれ「○」「△」が出ている状況で一長一短はあるところかと思いますが、今後の設計の進捗などを考えますとこの辺りで配置案についてはそろそろ固めていく必要があるかなと思っています。

今日皆さんと議論を進める中で方向性を出して、その後は校舎の中身の議論をさらに深めていければと考えております。

結論から申し上げますと総合的に見て、やはり区としてもA案が最も妥当かなと捉えているところでございます。

どのような点かというところで幾つか申し上げますが、まず思い出していただきたいのは改築基本方針、前回ぐらいですか、まとめて改築でどのような学校像を目指すのかといったところを整理させていただきましたが、その中のビジョン1ということで主に生徒の教育環境、その辺りの充実についての関係がございました。

そこで申し上げますと、まず第一に、A案については学年単位のまとまりで教室を配置できるというところで学年単位の多様な使い方にも対応しやすいといったところがあるかと思います。B案についても似たようなことができますが、C案はなかなかそうしたことも難しいというプランになっているのかなと捉えております。

また2点目としてですが、A案は普通教室が校庭に面して東側に配置ができるといったところもよい点かなと思っております。今、夏が非常に暑かったりですとかまた電子機器を使う機会が多くなっておりますので必ずしも南側の教室がいいというところもなくなっている状況でございます。

A案については東向きで校庭が面するといったところ、B案については南向きになるというところ、C案は南向きでかつ住宅側の目の前に普通教室が来てしまうといったところは少し課題があるところかなと捉えておりますので、そういった面からはA案の教室配置はメリットがあるのかなと考えております。

それから第3には校庭は数字的にも明らかかと思いますが、面積が最も広いと。また形も比較的A案が正形であるといったところは子どもたちの運動環境あるいは部活の活動を支える基盤としては優れている点かなと思っております。

それから、ビジョン2としては周辺環境への配慮ですとかあるいは安全、快適な学校づくりという視点がございました。その関係で申し上げますと、まず第一にA案は西側の校舎となります。これは校舎配置としては比較的今の校舎配置に近いという部分ではその分周りに与える変化という部分では比較的少ないというところは1つあるかなと思っております。それから第二にさざんかステップアップ教室の配置も、これまで説明がございましたけれども、また、生徒ですとかあるいは会合で利用する方々との動線のすみ分けといったところでは日常的な動線をしっかりと分けることができるだろうということ、それから体育館ですとか特別教室にも近くて活用もしやすいだろうといったところはA案のメリットと捉えております。

それからビジョン3ということでは、天沼地域の学びのプラットフォームあるいは防災拠点として今後活用していくといったところがございました。その関係で申し上げますと、A案につきましては地域にも活用していく特別教室とのエリア、これを比較的明確にゾーニングがしやすいといったところがあるかと思います。生徒のセキュリティを確保しながら無理なく学校解放などもしていけるといったところはメリットかと思っています。

それから最後になりますけれども、他のビジョンにも共通するかもしれませんが交通アクセスの問題。この敷地につきましては北側、東側、南側が道路に接していますけれども、A案はその3方向しっかり将来にわたってアクセスが確保できるといったところは日常的な生徒の動線、緊急車両のアクセス、それから工事車両のアクセスなども含めて将来に向けて有利な条件かなと思っております。

以上、7点くらいお話しさせていただきましたけれども、それぞれの諸々の点を考えますと、やはりA案が最も妥当であろうといったところが、これまで議論してきた改築基本方針の具体化という面でもいいのかと捉えているところです。

ただ、もちろんA案についてもまだ課題のある部分もあるかと思えます。近隣への影響ですとか、あるいは校舎の中の配置についてはさらにブラッシュアップしていく必要があるかと思えますし、先ほど係長からもありましたコスト的な部分も少し高かったり、面積も標準よりも少しオーバーしているところもありますので、そういったコストの縮減などについても併せて今後考えていく必要があるかと思っております。

	<p>以上、簡単ですけれども私から各配置案への現段階での区としての受け止めについてお話しさせていただきましたので、この後またご意見を頂きながら校舎配置については何とか今日、方向性を出していければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>私からは取りあえず以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。今、事務局、設計事務所から新たな配置計画というか、配置案を基にしたA、B、C案というところでご提案がありまして、今、区の方針としても基本的にはA案というのが一番バランスが取れている案ではないかということで進めていきたいという意見がありましたが、前回の配置計画とも結構変わってきているところともあると思いますので、そういったものも含めて何かご質問とかご意見等ございますでしょうか。</p> <p>委員お願いします。</p>
委員	<p>座って質問させてください。</p> <p>校舎内のほうが皆さん興味があると思うので、いろいろと今から議論すると思うので、今は校庭について質問させてください。</p> <p>A案だけ直線がトラックの中ではなくてちゃんと外側に直線ができるようになっていますが、この直線は何メートル取れるという設計ですか。東側に直線コースが設置されていますね。この直線コースは何メートル設置できるのですか。</p>
設計事務所	<p>こちらの直線は 50 メートルです。</p>
委員	<p>50 メートル。そうすると普通は左回りですから 100 メートル走るとすると、一番右下からスタートして 150 メートルトラックの曲線を通して 100 メートル到達点はどの辺ですか。校舎の保健室の辺なのか、入口の辺なのか、放送室の辺なのか。</p> <p>50 メートル 100 メートルというのは生徒にとってすごく重要なポイントなので、どこまで走れば 100 メートルなのかが知りたいです。</p>
進行役	<p>多分、これは学校が説明したほうが分かりいいと思うのですけれども、おおよそ大体こういうトラック配置になっている場合にストレートのところがテイクオーバーゾーンを取るのです、そのところから真ん中を取って両左右に前後テイクオーバーゾーンを取るような感じになるのでスタート、ゴールがその真ん中付近になるのです。そうすると、恐らく 100 メートルが大体特別支援と書いているところにゴールが設定されるのではないかなと、おおよその経験値からの感じです。</p>
委員	<p>今皆さんで議論するのはいいのですけれども、ここを150メートルを</p>

	<p>取るためにそうなったのだと思いますが、その代わりにテニスコートはトラックの中に入ってしまったんですね。これは実は先ほどの意見の中にもクラブ活動と一緒にできないというご意見があったとおり、このトラック内にテニスコートを造るというのは普通はあり得ないのです。なぜあり得ないのかというと、テニスというのはイレギュラーを好まないのです。スパイクを履かないのです。テニスをやられている方は分かると思いますが、傷つけないようなスポーツの仕方をするのです。</p> <p>トラック内にあるとサッカーもやるでしょうし、中学生がどのくらいのスパイクを履くか知りませんが、スパイクで傷つけられたらテニスは成り立たない。</p> <p>だから、このA案もC案もトラックの中にテニスコートを造っていますが、これは普通はあり得ません。あり得ないので皆さん班で議論していただくときにそこは議論してください。</p> <p>唯一、B案だけ外に出ていますけれども、そういう形がテニスコートを造るのだったら常識だと私は思います。先週ちゃんと指摘すればよかったのですけれども、そういう支障があります。</p> <p>今、設計した方がどのくらいテニスを知っているかにもよりますけれども、テニス場をちゃんと専門に造るのだったら、今もありますよね、そこの体育館の横に。それはスパイクで入ってはいけないのです。そういう原則なので、このトラック内にテニスコートを造るのは駄目です。だから、テニスコートを外に出すとすると、今度はトラックが狭まってしまうとするとせっかくの設計が勿体無いのですが、テニスコートを諦めるかどうかの判断が必要だと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ここについては、例えば私が区内で回った井荻中、荻窪中、向陽中、こことある中で、専用のテニスコートがあるのがここと向陽中だけで、井荻中も荻窪中も校庭の中に4面とか張って練習しているというのが、ある意味区内の標準的なスタイルとしてはこの形なのかなというところはあるのです。</p> <p>ここにこうなったいきさつについては私も相談を受けたので説明をすると、今、本校の校庭は150メートルトラックを使っています。部活動はどちらかというと教育課程外の活動なので、教育課程内の運動会だとか体育の授業とかということを考えると今と同様の150メートルのトラックが取れるなら150のトラックがありがたいということで、今このような形で出させていただきました。</p>

	<p>今後、委員の意見とかも含めてその配置計画の中でここはまた変えていける部分もあるのかなと思っておりますので、今の学校として150をやっているというところを取れたのがA案だけだったというところもあるのだということについてご理解いただければなと思っています。</p> <p>すみません。私のほうから説明してしまいました。</p> <p>ほかに。委員よろしくお願いします。</p>
委員	<p>若干重箱の隅を突くような話になるのですが、最後の「特徴比較」の下の方に「工事期間」の話と「コスト」が出てきますね。オープンハウスというのは半月前くらいのご説明だったと思うのですが、そのときに配布された資料を見ますと、期間のところがもう少し長いのです。ですから少し短縮がこの間図られているということですか。</p> <p>それから前から気になっているのは、工事が重複してできる場合とできない場合と。期間が短くなっているC案というのは今の西側校舎が使えるので仮設の規模も小さくできるとかそういうことで、金額面とか、それから仮設の工事の期間を短くできるため、そこだけは利いているのですよね。C案がなぜ短いのか。</p> <p>それともう1つは、最終的にいつから使えるのかということが、オープンハウスのときには書いてあるのです。新校舎供用開始時期と言うのでしょうか。今回の資料にはそこら辺のことが書いてなくて、絶対的な工事期間だけが示してあって、そこら辺もメンションしていただくとうりがないなということです。</p> <p>それからコストが確かにBは高くなるというのは、さざんかさんの部分を別棟として第2期でたしかやるのですよね。そのために金額もそれが跳ね返っているのだと思うのですけれども、6億円というのは結構大きな金額ですけれども、長い目で見たときに、あるいはこれは皆さん考えていただきたいのですが、さざんかさんの部分はA案は北側に2階づくりですか、そこに入れるという形式ですね。</p> <p>それから前々からよく保護者の方々が心配されている一般校舎との一体感があることと何らかの意味で別棟になっているほうがという、その辺りの感触、それぞれ説得性があれば、それはどちらでもいいのだと思うのですが、長い目で見たときの6億円というのを、「これは金がかかる」ということだけでB案が劣位に扱われるのはどうかなというのが1つあります。</p> <p>ですから2点です。本当に工事期間としていつから始まりいつで終わりそうだと。その辺りのことはどうなのかなということです。というの</p>



	<p>は、オープンハウスのときはほんの半月前の話ですから。それで皆さんにお目にかけている資料と今回の長くなっているのではなくて短くなっていますからいいことではありますけれども、何か理由があって「この部分はもう少し短くできるな」と、そういう検討があったのかなと。そういうことです。</p> <p>それから新校舎というのは既存校舎を壊さないといけない場合と途中から始められる場合もあるだろうと。AとBは壊さないで新校舎を造れないですね。それだけ遅くなるということが反映されているのだと思いますが、その辺りのことです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ということで、事務局、ご回答をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>工事期間につきましてですけれども、それぞれ改めて見直しをしていただきました。特にC案につきましては、重複してできる場所ですとか、そういったところを見直ししていただいて、工事期間を短くすることが確認できましたので今回改めて月数をお示しさせていただいたところです。</p> <p>新校舎が使えるようになる時期ですけれども、この計画で行きますと令和13年度の半ばには新校舎は出来上がる見込みで想定をしております。</p> <p>なので、例えば令和13年10月とか11月にできあがりましてその年の冬休みに引っ越しができて3学期から新校舎での授業ができるという想定になります。</p> <p>引っ越しをした後、既存の校舎ですとか体育館の取壊しをして校庭整備をしてということで、全部が終わるのは令和14年度中になるかと思えます。</p> <p>工事期間については以上でございます。</p> <p>コストにつきましてはC案が最も既存校舎を活用できるので一番安いかなと思っております。</p>
委員	<p>差が小さかったという事実を含めて、変更があった箇所等については資料に示してもらったほうがよいです。また、恐らく委員の発言の趣旨は、全体に対して4億とか6億と言っている金額が相対的にどのくらいなのかということが共有されたほうがいいよねということだったのではないかと思います。</p> <p>ただし、自治体の経営を考えるとときには、イニシャルだけでは意味がないです。ランニングなので、維持管理コストを下げたいのですよね。</p>

	<p>だから、そういうものを含めて6億とか4億という金額がどういうものなのかということが共有できる回答だといいいのではないかと思いますのですけれども、いかがでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。工事のトータルにつきましては今試算の段階なので、正確な額ですとか詳細の内訳というのはなかなか出しづらい段階ではあるので、現時点についてはご理解いただければと思います。</p> <p>その中で共通する部分とかを見比べた結果が建築のコストというところがこの差が出ますということでございます。一般的には今後のランニングコストというところ言えば、形が整形であったりアクセスのしやすさですとか、外壁であれば足場の面積というのですか。そういったところは影響してくるかと思います。</p>
進行役	<p>委員、大丈夫ですか。</p>
委員	<p>途中でいろいろとけちをつけているように受け取られると困るのですけれども、最終的には全て調整して整合的な姿で出していただければという思いです。途中で疑問が起こるような資料の作り方というのは問題だなということと、あとは先生がまさにおっしゃっていることで、全体がまだ分からないところでの議論であるのでおおよそその一体これは100億のプロジェクトなのか50億のプロジェクトなのか、そこにおけるプラス6とかマイナス4というのが位置づけられなければならないと思います。</p> <p>私からは取りあえずそういうことでございます。</p>
進行役	<p>事務局としては、これは変わることを前提の上で、今、大体幾らくらいになるのかというのは伝えられないものですか。</p>
施設整備担当 課長	<p>今試算中なので金額が独り歩きするところは嫌ではあるのですけれども、大体近年の感じだと80億は確実に行くであろうと。100億くらい行ってもおかしくないなといったのが学校建設のプロジェクトの規模という感じにはなっています。</p> <p>その中でも6億円というのは、小さくはないところではあるのですけれども、ただ、さざんかのプランを見たときに必ずしも別棟で建っていることでもいいのかというのは、出来上がったときにB案を見ていて思っていたところではあります。</p> <p>さざんかさん、私も自分自身の子どもが行っているとか、そういうことはないで分からないところがあるかもしれないのですけれども、教室が校庭のほうを向いているので、みんなの視線が気になってしまって、せっかくの南向きの窓があるけれども、意外とカーテンを閉めてし</p>

	<p>まったりとか、そわそわした気持ちになるのかなということを考えたりとか、さざんかさんからどこか特別教室に行くときも、今、「開放」と書いてあるこのピロティみたいなところを通るときに、ほかの人と交わるのが、逆にそこもそわそわしてしまったりするのではないかなというのを感じていて、そういった意味ではA案は北側にありますけれども、北側は最近はそんなに悪いイメージもないというか、北側は安定して窓を開けても明るくなったりするので、逆に落ち着いた空間がここで出来上がっているのかなというのはイメージとして思いました。</p> <p>近くに体育館を設けていまして、この後は詳細になりますけれども、直にこのさざんかさんのエリアから体育館に行けるような扉がもしも造れば、すぐに体育館に行けたりもしますし、北側の窓についてもほかの生徒さんが通学の時間が終われば通らないので、窓を開けてさわやかに落ち着いて過ごせる空間がAだとできているのかなと感じて、別棟というところにこだわらなくてもA案のほうでは意外といいさざんかさんのプランができているのかなと個人的には感じたところではあります。</p> <p>あとは先ほどの金額面については 80 億、100 億といったプロジェクトの中の金額の差になっていきます。</p>
進行役	<p>ということです、金額に関してはこれから変わっていくので、現状の数字として大体それくらいの金額がかかるのだというところで、今後の資材の高騰とかを含めれば3桁行くことは普通にあるぞということも含めて、これで確定ではないということだけは皆さんご承知おきいただければと思います。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>今更なのか、今からでも間に合うのか、天沼中はずっと伝統文化で茶室を、実は私が2002年に地域や私費を投じて130万円くらいかけて造らせていただいて、ずっと特別学習の中で学んできているのです。お茶とお花と、という形で、今まで特色と思っていたものがなくなるのかということ。</p> <p>それを例えば地域プラットフォーム、社会に開かれたとおっしゃっていて地域と共有していこうというところに、そこを併設、例えば西田小さんも和室があったし、天沼小さんの場合は本当に特殊な改築をなさっていて、半地下に、あれは統合初新校の思いが一斉に花開いている校舎ですので、半地下を下りて行ったら宝塚かという大階段の下に茶室がありますよね。そこまで豪華なものを望んではないのです。ただ、ひっ</p>

そりとでもいいから学びの一環としてやらせてきていただいたことをぜひどこかに生かしていただきたい。

本天沼集会所も、今、区の全体の見直しの中で仕様がかわってしまっていて、私がその委員をやっていたときに奥が茶室になっていたのですが、それも地域の方が使えるという状況ではない。であるならば、天中の中に地域に開かれたものとして子どもたちも使うが地域の方も使うという、そういう施設で、ちょっと炉を切っていただけるとありがたいなというのをどうしてもお伝えしたかった。

あと、杉並区全体のことなので今日お答えいただかなくても結構なのですが、学びの多様化学校について、今後杉並はどうお考えになっていけるのか。

さざんかステップアップ教室の中で杉並が長年培ってきた特色は私はすごく認めているので、杉並はさざんかをもってして、そういう学びの多様化に込めているのだよというご回答が頂けるなら全然納得なのです。

その中で例えば済美でもやっていらっしゃるし、高井戸でのTCCのチャレンジスクールも含めて、もっとそういうことが分かって、さざんかの中で小学生と中学生の発達段階に応じた学びの場づくりと同時に、これからの多様な子どもたちのための多様な学びのためのスペースみたいなことも視野に入れていただくためには、杉並区全体が今後学びの多様化学校をどうお考えになって、他区、他市、他県では今だんだん多様化学校自体を立ち上げている行政も増えてきている中なので、杉並区全体だとここをどうお考えになるのかということが知りたいなということと、子どもたちが伸びやかに学べて、前に私は幾つもの何十校も見ているのですが、イケアとコラボした今までの教室概念から本当に外れた多様化学校とかも見てきましたが、どんなことがいいのか、内装の問題なので今語ることはない、ただスペースがない限り内装に手は入れられないので、スペースの確保は今示していただいて、今、本来行っているさざんかステップアップとそれから旧天小のスペースよりはちょっとありそうなのでよかったらなんて思っている、全体の方向性みたいなものを、次回まで全然構いませんので、検討しているなら検討しているでもいいのですよ。今検討会が始まっているのだから答えられないよ、でもよいのですけれども、でも、大体さざんかをどう活用していくのかとか、そういうことも含めて、どうしていくのかということを知らせていただけるといいなと。それから地域に開かれた学校、地域の

	<p>プラットフォームという、そういう大きな概念をどうやっていくかというところの中に、ぜひ天沼の不易と流行の、不易の中の茶室ということを頭の片隅に置いていただけるとありがたいなと思って意見を言わせていただきました。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。茶室の件とかは本当に細かいところに入っていくので、恐らくこれから先のお話なのかなと思うのですが、学びの多様化学校の部分だとか区でも検討されていると思うのですが、今ここではどうですか、なかなか答えづらいところですよ。ですので、もしあれば。</p>
教育相談担当 課長	<p>教育相談担当課長です。学びの多様化学校については総合計画・実行計画にもお示ししているとおり、いつまでかかっているのだと思われるかもしれませんが、検討は重ねているところではあります。</p> <p>学びの多様化学校ももちろん不登校児童生徒への支援の1つではあって、ただ、それがあればいいかというとな必要な条件ではあるけれども、それがあれば十分かというとなそうではないと思っていまして、今、杉並区、特に教育相談担当としては令和4年度からかなり不登校児童生徒に対する支援というのがババババっとかなり数が、国も都も力を入れて増えてきて区としても取り組んでいるところではあるのですけれども、私、担当としてここに来て半年ちょっとたって、一つ一つはすごくいいとは思いますが、何かつながりがなかったりとか、正しく学校や保護者や地域の方に伝わっていない部分があるのではないかなというところは正直感じているところでありますので、まずは大きく俯瞰して全体を見直し、整理をしていく必要があります、その中で必要な支援というのをどう届けていくかというのを一体的に考えていく必要があるかなと思っておりますので、本当に委員がおっしゃっていただいたように、検討だったら検討でいいよとおっしゃっていただいたので検討しているところではあるのですけれども、でもタイミングが来れば皆さんにしっかりお示ししていきたい気持ちではあります。</p> <p>お答えになっていないような答えになってしまって申し訳ないのですが、以上です。</p>
進行役	<p>そのほか、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>では、どうぞ。</p>
委員	<p>単純な質問なのですが、メリットのところでもA案、本当にA案で早く進めていこうよという気持ちが私もありながらなのですが、グラウンドが長く使えるみたいなメリットがあったかと思うのですが、こ</p>

	<p>の資料５の図を見ると、何か本当に図を見てしまうとステップ３、ステップ４に行くとテニスコートよりも小さいグラウンドが残るみたいに見えるのですが、どの程度必要性のあるグラウンドが残るのかなというのを伺いたいなと思いました。</p>
進行役	<p>これは事務局でしょうか。設計事務所でしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>事務局のほうから一旦。資料５のところで工事期間中に使える校庭として、緑色で描いてあるところが工事期間中使えるかなと想定している場所でございます。</p> <p>例えば、Ａ案でいったときに、一番小さくなるのがステップの３、４のところですけども、今のテニスコートの辺りの場所になります。あのくらいのスペースではあるのですけれども、私は中瀬中学校も担当しているのですけれども、中瀬中学校もこのくらいのスペースを確保してここで体育の授業をやったり部活動の練習をやったりとか、あとは運動会の応援団の練習をやったりとかということもやっております。これだけのスペースでも十分活用してもらっていますので、結構有効に使ってもらえるのではないかなと思っています。</p>
進行役	<p>Ａ案の場合は体育館が残ることなので、そこも含めて学校としてもこの形で行くのであればうまく使っていくのかなとは思いますが。</p> <p>そのほか、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。大丈夫ですか。</p> <p>では、特に意見がなければこのＡ案を軸にしていくという教育委員会の提案について、特に異論はないということでよろしいでしょうか。</p> <p>（「異議なし」の声あり）</p> <p>では、このＡ案を軸にして平面計画を検討していくということになります。</p> <p>それでは、これから平面計画の検討に進んでいくのですけれども、前回第６回でＡ案の平面計画を御覧いただいておりますが、資料４のまた新たな平面計画が出ておりますので、そこについて今日、設計事務所から説明いただいております。</p> <p>資料４を御覧いただいて、さらにこの平面計画についてブラッシュアップするためのご意見等、先ほど委員からも茶室をどこかに造れないかという話もありましたけれども、そういったことで構いませんので、ご意見とかご提案がありましたらご発言いただければと思います。</p> <p>委員、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>調理室に関して、これは本校の先生から幾つかご意見・ご希望を頂い</p>

	<p>ておりまして、今の面積はすごく狭いということもありますけれども使い勝手が非常に悪いということ。それを少しでも改築のときに改善していただけないかということをお伺いしております。</p> <p>加えて、前々から私が申し上げています防災機能に関しましても、ご意見を伺っていますので、参考資料を作成していただき、提出させていただきたいと思っていますので、ぜひご検討いただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかご意見ございますか。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>私は地域と中学校の結びつきで、例えばこの会議。視聴覚室なる名前がないので、例えばこういう会議とかC S会議が必ず必要だと思いますが、それは今どこでやろうと計画していますか。校長先生が答えたほうがいいのか。このA案でいわゆる視聴覚室のようなこの広場、これは……。</p>
進行役	<p>恐らく、C Sは会議室を使うような想定になるのかなという感じですが、今この案でいくと平面の面積が超えているので、これからどのくらい削られるのかというのを、すごくドキドキしながらではあるのですが、学校整備課と相談している中では、例えばこの多目的室はパーティションみたいな形になっていて外せるといいですよ。そうすると広い教室とかが取れるので、そういうフレキシブルな教室ができたりするといいですねとか、そういう話とかはしています。</p> <p>現状、3、3、3なので4学級で設定してくれている部分があるので、それ以外のところでゆとりの教室、5学級になったとき対応の教室は、ある意味広く取ったりとかフレキシブルな対応ができるような形を取れると学校としては使い勝手がいいですねということはお伝えしております。</p>
委員	<p>今のところ、どこになるか分からないけれども。</p>
進行役	<p>そういうところは取れる可能性はあるのではないかと。ただ、減らされる予定なので、どこがどう減らされるのか分からないので、7,000平米、7,500でしたっけ、が基準だということで以前出ていたと思うので、今ちょうど8,100平米でちょっと大きいので、それをどういう形でどうするのかというのは、これからの平面計画の部分になっていくのだと思うのですが、というところかなと私は思っております。</p>
委員	<p>もう1件だけ。手短に。配膳用エレベーターがありますが、人用のエ</p>

	レベーターは3階建てだからないということですか。
進行役	人用のエレベーターになっていてかなり大きなエレベーターになります。
委員	この配膳用エレベーターというところが普通のエレベーター？
進行役	普通のエレベーターになります。バリアフリー対応になるので普通のエレベーターになると私は説明を受けております。
委員	承知しました。ありがとうございます。
進行役	ふだん使いで生徒は使わないのですけれども、うちの学校は全然バリアな学校なのでバリアフリーにするためにはエレベーターがなければいけないということで、そうなりますということです。 そのほか、ご意見等は。 どうぞ、委員。
委員	A案なのですけれども、場所が変わって、あと、2つのフロアになってすごくよくなっているのかなという感じで。校庭にも確かに面していないのでほかの生徒さんが見えなかったりというのもすごく改善されているのかなというのと教室も2教室取れるということで、ありがとうございますという感じなのですけれども、屋上とかにさざんかの生徒がアクセスできるような感じだったり、屋上をこれから何か使ったりという感じなのでしょうか。
進行役	今、屋上の活用という話が出てきて、係長どうですか。
教育施設計画推進担当係長	いろいろアイデアとかもどんどん頂いて可能かどうかというのをやっていきたいなと。
委員	補足しますと、確かに重くなるので建物自体は強くしないといけないのです。ただ、昨今の夏が暑すぎるというのに対して「建物を断熱する」という動きがあります。例えば屋上緑化は下の教室を2、3℃下げるといふ報告もあります。だから、エアコンと天秤にかけたときにどっちかみたいな計算を恐らくしたほうがいい。これもランニングコストの話ですね。
進行役	委員、どうぞ。
委員	さざんかさんが入るところの2階が屋根になっていますよね。3階か。その3階の屋根のところのその部分なら、私ずっと気になっているのが、さざんかさんが畑をやっているのです。 イグチさんは私が実はさざんかにアテンドした方で、それでアンケートを読んでいたら、イグチさんだと思われるご意見があって、「日影すぎて子どもたちがかわいそう」だって。「確かにな、そこしかないか



	<p>らな。あんな日影でかわいそうに」と思っていたので、もしかしたら3階のさざんかさんのスペースの上だけでも、それだけだったら狭いから全屋上をやるよりは、スペースがあればからやりやすいかなというのがあるので、それも子どもたちがいろいろな農体験をしてみるというところに活用できたらいいのではないかなと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。今のようなそういったアイデアをいっぱい出していたことを含めて可能かどうかというところを恐らくそこで設計事務所と学校整備課のほうでまとめていく形になりますので、どんどん頂ければなと思っています。</p> <p>先ほど委員からもご意見があったように、校庭の中にテニスコートというところで「これ、テニスコートを上に持っていけないですかね」というつぶやきをしたりしたこともあるので。そうすると「さざんかさんとかが校庭代わりに使ったりもできたりするのではないですかね。でも、やっぱり屋上緑化とか太陽光パネルとの兼ね合いがあって」というような話とかを頂いていますので、アイデアとしていろいろなものをいっぱい今の段階で出していただくのは、今日特にやっていただきたいことかなと思います。</p> <p>それでは、委員お願いします。</p>
委員	<p>細かいことですけれどもアイデアをいっぱい出してもいいということなので、心の潤いを感じるような校舎にしたいというような一項目があったかと思うのですけれども、きつきつで、これだと天中、特に天小がああいうふうになってしまったので、天中に来ると木を見てほっとするのですけれども、桜の木も何も植えられないような感じですね。</p>
進行役	<p>そこはどうでしょう。</p>
委員	<p>学校というとやっぱり桜は欲しいと思うし、それから今の天小は何も植えられない状況になっているのです。だから子どもたちは植えるということを知らなくて、プランターを持ち帰る。プランターに種をまいて持ち帰るというだけ。本当に天小と天中を比べても木がどれだけ木が心を和ませるか。</p>
進行役	<p>今のこの平面図でいう緑の部分の緑化帯のところに木も植えるのかどうかというのは、どうでしょう。学校整備課もしくは設計事務所はどうお考えなのかというところがもしあれば。</p>
委員	<p>北側のあの大きな桜は寿命もあるかと思うのですけれども切ってしまうわけですね。</p>
進行役	<p>北側の桜は残念な話、かなりやばいので、多分これは改築の前に切ら</p>

	<p>れてしまう可能性はありますね。</p> <p>いかがですか。周辺の緑化に関してこういうふうにとか、区で決まっているとか、そういうものがあったりするのですか。どうなのでしょう。特にそういうものはなく、ここもまた検討の中で話ができるところなのではないでしょうか。</p>
施設整備担当 課長	<p>まだまだこれからというところなので、なるべく既存のもので樹木が生き延びそうなものは残したりもするのですが、そこら辺は木の健康さと、あとはなるべく緑を残したいというのはあったりするので、これから計画で考えていきます。</p>
委員	<p>お願いなのですが、天小が建ったときに何でこんなに木が少ないのだろうと思って、何でこの何でもないような木ばかり植っているのだろうと思ったのですが、そのときに区からのお返事は「もう決まっていて1平方メートル当たりこの木を植えると決まっています」という感じで、子どもの感性に訴えられるのかどうかという気がしたので。分かるのです。たくさん広く取らないといけないとなると一番押し込められるのは緑化のところだと思うのですが、「何でもいから植えました」みたいな返事だったので、そのところは、その分野の人と学校と、四季のことも考えながらお願いしたいと思います。</p>
進行役	<p>では、委員。</p>
委員	<p>全く新しい話ではないですが、皆さん本当にさざんかのことをいろいろ考えていただいてすごく感謝しています。ありがたいと思っています。</p> <p>さっき、委員がおっしゃったように確かに子どもたちにとっていわゆる勉強というのは座学だけではなくて、そういう農業とか調理とか本当にいろいろな生活も含めて全人的な活動はすごく大きいのです。本当に農業体験でいろいろさせていただいて、今は本当はないので。小さなところでホウレンソウとかナスとかトマトとかを植えていますが、ここの北側で気になるのはそういう確かに採光がないということではあるのです。確かに屋上をうまく活用していただくと、いろいろな意味で、運動も作業体験も含めていろいろな可能性が広がるのかなと思いました。そこはありがたいなと思います。</p> <p>さっき、別棟というお話がありました。今、天沼教室は同じ棟にあるのですが、非常にうまく、出入口1個でみんな普通の教室の子どもたちと接触しない行動になっていて、非常にうまく造っていただいていると思うのです。だから、あまり別棟にこだわることは必要はないか</p>

	<p>なと思っております。でも、本当に感謝しています。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>今、さざんかの配置のところで、北側の、様々な教育活動の面という話もありましたので、そこら辺も事務局でいろいろ研究していただければと思います。</p>
委員	<p>植生も道路に面しているところで、やはり木があるということはすごくありがたいことなので、学校全体もすごくそうだと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>では委員、お願いします。</p>
委員	<p>何か抵抗勢力みたいにとられるとまずいのですが、この後のプロセスでこの懇談会というのはあと2回用意されていて、年明けと最終案というのでしょうか。その後住民説明会というのを用意されていると。こういう話なのですね。</p> <p>それで説明会になりますと、ある意味で説得していくというか、そういうことだけになるのだと思うのですが、前々から私どもは天沼中CSからの代表ということで来ておりますし、いろいろな立場の方が来られているので、いろいろな意見が確かに懇談会では出てきているのだと思うのですが、CSの会長が非常に懸念されているのは、確かにオープンハウスというのは結構なことなのですが、どこかでやらなければいけないということはよく分かります。それからニュースを出していると。これもよく分かるのです。</p> <p>ただ、オープンハウスというのは、区の方と一対一での応答になってしまっているのですよね。今回のこういう意見が出ましたというのがあらわにはなっているのですが、いろいろなお立場の方の発言を聴取するようなそういう集会をぜひ一度セットしてくれないのかというのが会長の願いなのです。</p> <p>この懇談会の位置づけは何なのか。広く意見を聴取するので別に決定機関ではない。それからある種の諮問なのですかね。大体、総じてこういうことで区にはお願いしたいというものがここから出てくると。そういう位置づけなのかもしれないのですが、住民説明会の前に1回、民主主義のプロセスは非常に面倒くさいのですが、ある程度前広に予定を組んで、こういうことがあったんですよということを説明会を開くことをお願いできないかなということです。私はCSの委員ということで委員と共に出てきているわけなのですが、あとの皆さんもそれぞれのお立場で出てきているわけです。学校支援本部をはじめ。それはそう</p>

	<p>なのですが、CSとしてはそういうのをお願いしたいなと、そういう思いであります。そのことを一応そうお受け取りいただければ結構です。</p> <p>もうちょっとだけ長くなりますが、今までの中で必ず出てきているのがさざんかさんの問題、それから防災拠点としての位置づけがちゃんとされるのかということ。それから別の委員が盛んにおっしゃる、私も思いますが、学びのプラットフォームとか、これは非常に長期的な問題ですし、教育長も非常に旗を振っていらっしゃるわけなので、それを具体的にどう落とし込めるのかなと。これからの問題なのでまだ時間はあるとは思いますが、その点でしょうか。</p> <p>こういうものがこの懇談会の中で挙がってきたテーマですので、それについて一定の回答が出ていればみんな納得するのかなと。それは住民説明会などにも使っていけるというのでしょうか。そういう感情を持ちます。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>というところがありましたが、事務局に確認したいことだと思うのですが、今日配られている資料はある程度公開情報として捉えてよいものなのかというところなのだと思います。いかがでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>懇談会の資料でございますけれども、こちらについては公開を前提にした資料になっております。ホームページにも掲載させていただいておりますので、広く出身の、出てきていただいている団体の皆様と共有いただき、ぜひ活用していただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ということですので、本懇談会に出てきていらっしゃる皆さんにつきましては、それぞれの所属の肩書の下に出てきていらっしゃるところがございますので、それぞれのご所属において、こういうふうに関式が進んでいるということを情報共有していただき、その中で広くご意見を次のところで持ってきていただくという形をまず第一にさせていただけるといいのかなと思います。</p> <p>また、今の委員からの提案については事務局にも伝わっておりますので、再度検討になると思いますが、ここにいらっしゃる皆さんにつきましてはご所属のところで、きちんとお話をシェアしていただくのがまず一番大事なところなのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>そのほか。委員どうぞ。</p>
委員	<p>今のご発言について、例えば我々は町会から来ているので8町会で共有したいのですが、この資料がないと共有できないのです。ですからこ</p>

	<p>の資料を早く欲しい。今まで杉並区の担当部署の方は、結果については随時上げていただくのですが、それがほとんど遅いというのは失礼なのだけれども、このデータが早くないと共有できないです。口で幾ら説明しても分からないので、このデータがすぐ欲しい。それができますか。それができれば8町会の会議で共有できます。</p>
進行役	<p>メールアドレス等は事務局で持っていらっしゃいますか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>メールアドレスもありますので、個別に送るということも可能でございます。</p>
委員	<p>ぜひよろしくお願いします。私まで送っていただければ。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>そういう意味では、公開情報なのだとしたら、懇談会開催日にホームページにアップしてしまえばいいのではないですか。</p>
委員	<p>それができれば一番いいです。それは難しいのではないですか。相当苦労されているような気がするのです。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご指摘のとおりでございますが、資料につきましては本日のように差替えになることもありますので、そこはスピード感を持ってホームページのほうにも早くアップできるように努力したいと思います。</p> <p>また、個別に資料を送付ということも対応しますので、ご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
進行役	<p>委員をお願いします。</p>
委員	<p>私も代表として小学校から出てきていて、保護者にどういう形でどんな段階でご紹介していいのかなと実は迷っていて、今うちの学校の何年生が進学するときどこまで改築にかかるのかというのをどのあたりまで、私も明確に分かっていないので、保護者の代表の方はいらっしゃるのですけれども、そのあたりをデータでお示しいただければ助かります。今すぐでなくてもいいのです。よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>私の言うことはマイナーなことばかりなのかもしれませんが、この改築にすごく期間がかかりますよね。この改築期間中に中学1年から中学3年まで過ごす子どもたちのケアというのでしょうか、言葉にどう表現していいか分からないのですけれども、ずっと仮設のところで過ごすという子どもたちに、これは役所なのか学校なのか分からないのですけれども、寄り添うようなことも、建てることに一生懸命だけではなくて考えていただきたいというのと、それから杉五(杉並第五小学校)</p>

	<p>を解体するときに、杉五の建物が解体されていくのが丸見えだったのですね。たくさん子どもたちから心が痛むと、卒業生からも。中には解体していく様子を見たい子もいるかもしれないのですが、卒業してしまったうちの子たち、それから近所の子どもたちも自分が通っていた教室がクレーン車でドン、ドンと壊されていくのを外から丸見えで見ているのはものすごくつらいからあの道は通らないと言っていた子もたくさんいたので、そこのところも考えながら建設関係の方は、例えば全部覆ってしまうとか、都心のビルなんかは覆ってますよね。あると思うので、お願いしたいと思います。</p>
進行役	<p>では、今のご要望は事務局のほうに、と思います。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>今、先生がおっしゃった、改築の過程で、もちろん天中の仮校舎いろいろあると思うのですが、それなんかもどこかに移転しなくてはいけない。どういう計画でどこに移転していつ頃どうなるのかということとをぜひ教室にも保護者にも伝えていただきたい。小学校にも伝えていただくと今後卒業生がどういくかというのも、すごく問題だと思うので、なかなか今、意思疎通がうまくいっていないところもあるみたいなので、ぜひそういう工程、例えば移るときに、ここを壊し始めたら、例えばさざんかでプールをまず壊すとすると、すぐ教室のすごい騒音と振動とか、そこにはまだ教室はあるけれども工事が始まることもあるかもしれないと思うのです。</p> <p>そういう対策を含めて、ここでなくて結構なので、各教室と保護者にお示しいただけるとありがたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ここで今配置の場所が決まってきたので、恐らくここから先に工程等々細かいところが決まってきた、具体的な細かいスケジュールみたいな見通しもまた、これが始まる当初にも、一応令和9年度から仮設校舎建設だという大まかなスケジュールは出されていたと思うのですが、細かいところが出てくるようになるだろうと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、委員お願いします。</p>
委員	<p>2点ほど。さざんかの件ですが、オープンハウスのアンケートの中に、日大二高通りからの出入口を希望している声がありまして、北側の教室でご満足されている雰囲気だったのでいいのかなと思いつつ、さざんかに通われているお子さん、親御さんにとって、本当は南側のほうの出入口がいいというお気持ちがあるのかどうか。それで校庭を</p>

	<p>見ないような設計の工夫ができれば、なおいいのではないかなと思いますして、その点が気になりました。</p> <p>あと、重複するかもしれませんが、テニスコートの件です。ほかの学校でトラック内にテニスコートを置いて部活動をしているところがあるということですけれども、そういった場合、サッカー部や野球部、硬式テニス部や軟式テニス部、どういった工夫をして活動されているのか。あと、設計上何とかこの紫色の倉庫等の場所を移設してテニスコートを造れないものか、お尋ねしたいと思います。</p>
進行役	<p>ということで、恐らく今のところについては、配置をもう一度、恐らくここで決まってきたところで設計事務所のほうで見直していくという流れと、あとはテニスコートの配置とかも含めてもう1回グラウンドの配置を検討することはできないのかというところが要望にあると思いますので、ここもまた次回に向けての課題という形になるのかなと思いますけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>グラウンドの中でやっている部活動はグラウンドを半分に分けて使っていたりという学校も結構多かったりするので、テニスコートがあればそれはそれで言うことないのですけれども、という、学校としてはそうなるかなとは思いますが。</p> <p>また、さざんかの教室の配置の場所についても、いろいろな教育活動で植物の栽培とかができたりするほうがいいというお話もありましたので、そこも含めて恐らく再度ご検討いただいた形でまた次を迎えられるのかなと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>そのほかに今触れておきたいところ、平面のアイデアについてございますでしょうか。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>この新しい校舎が建つのは随分先になって、その頃はもしかして中学校の部活動がそもそもどうなっているのかなと。ちょっとそこは気になるところかなと思いますので、その辺りの計画も含めて。この前、教育長と話していたらそんな話もあったような気もしたので、その辺りとの兼ね合いでまた教えていただけたらいいかなと思います。</p>
進行役	<p>ということで、また難しい問題が出てきました。というところで、今、杉並区のほうも着々と地域移行に向けて動いてはいるというところではしか言えないというところだと思いますが。</p> <p>ただ、一応部活動の活動についてもある程度配慮しながら配置計画を考えていただければと考えておりますので、よろしく願いいた</p>

	<p>します。</p> <p>そのほかございますでしょうか。今日言い足りないという方はいらっしゃいませんか。大丈夫ですか。</p> <p>取りあえず、まずここでもう1回配置案を考えていく上でのアイデア出しの時間だったと思いますので、この后感想等のところでアンケートに書いていただいても構わないと思いますが、全体で出しておかなければいけないこととかないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは最後に、学識の先生からお話を頂きたいと思います。</p> <p>それでは先生、お願いいたします。</p>
委員	<p>皆さんのやり取りを聞いていて「そうだな」とか「ここはこう考えたらしいかな」と思うことも多々ありました。</p> <p>今日、こうしてテーブルを囲む形で皆さん座っておられたのですけれども、どちらかというに一問一答でしたよね。先ほど校長先生から「アイデアをたくさん聞きたいのです」というお話があったのですけれども、グループワークのほうがよかったのかなということを思いました。だから、その時々に応じて、時間配分なり考えながら全体で共有することと、それからグループの中でたくさん意見をもらうという時間をデザインしてもいいのかなと、残り2回ですけれども感じたところです。</p> <p>アイデアをたくさんという点では、このA案にある程度絞りつつあるこの過程で、中学生に聞いてみたいなというわがままも思い浮かんでしまいました。それが1つ目です。</p> <p>もう1つは対話の中で、例えば委員から茶室というアイデア、言葉が出てきました。それから農業体験というアイデアも出てきました。こういうものを深掘りする必要があるかなと思ったのですけれども、さっき委員がコメントの中で「あっちの小学校では地域開放されていないから使えないのだ」というお話を頂きましたよね。たしか茶室だか和室だか。違いましたか。</p>
委員	<p>地域区民センターの出先機関があったのですが、今用途が変わってしまって、そこには茶室があったのです。このエリアだと天沼小さんは茶室を持っていますが、一般開放的な感じではない。</p>
委員	<p>そうですね。この天沼中学校という敷地と、それから空間の提案があるからこそ、皆さんこの枠の中で考えてしまいがちだと思うのですけれども、多分、委員のコメントにヒントがあって、地域と関わるみたいなことも一方で大事にしようとしている中では、必ずしもこの中学校の中で、全部農業体験したらいいとか、全部和室をそろえたらいいとか、</p>



	<p>そういう話ではきっとないと思うのです。だから、アイデアとしては受け取りつつ、地域の皆さんないしは杉並区が、これを地域全体でどう受け取っていくかという視点でもう1回振り返る必要があるなと思うのです。</p> <p>この学校の中で回答できないことを、地域の中で例えば「こんなことができますか」と行政が地域の方々に応答できると、すてきな民主主義だなと思うのです。そのプロセスが、もしかしたら委員がおっしゃる住民説明会の前の段階でみんなで共有しようよみたいなことで含められるかもしれないし、今までのやり方からこのグループワーク的な座り方に懇談会が変わったことを契機に全体のプロセスも変化球を加えてあげられるといいかなと思いました。</p> <p>私のコメントは以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日の議事は以上になりますので、それでは事務局から連絡事項をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>毎度ではございますけれども席上に配付しておりますご感想シートでございます。本日の各議題についての感想、ご意見などをご記入いただければと思います。記載が終わりましたら、アンケート用紙を出口で職員にお渡しください。後日提出される方につきましては返信用の封筒をお渡ししますので職員にお声がけいただきたいと思います。</p> <p>2点目は本日の議事録についてでございますけれども、約1か月後を目途に皆様へ案をお送りいたしますので、ご確認いただきたいと思います。</p> <p>3点目でございます。今後の懇談会の日程についてお知らせしたいと思います。</p> <p>次回ですけれども、12月15日月曜日の午後2時から4時まで。12月15日月曜日の14時から16時になります。これが第8回でございます。</p> <p>第9回でございますけれども、第9回は1月27日火曜日14時から16時。</p> <p>第9回までの予定ではあったのですけれども、最後のまとめのところがもしかしたら少し厳しいかなという部分はあったので、念のため第10回も日程の調整を今しているところです。</p> <p>第10回については、まだ日にちだけなのですけれども、3月2日月曜日か3月5日木曜日。この2日の中で時間帯の調整をしようと考えております。まだ時間のほうは未定でございます。日程についても3月2日</p>

	<p>になるのか5日になるのかというところで、まだ調整しているところがございます。日程が確定しましたら改めて皆様にご連絡させていただきたいと思います。会場につきましても改めてお知らせしたいと思います。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
進行役	<p>それでは最後に、学校整備・支援担当部長からご挨拶いただければと思います。よろしくお願いします。</p>
学校整備・支援 担当部長	<p>改めまして、本日は改築懇談会、ありがとうございました。</p> <p>今回、A案を軸にということで、この懇談会でご了承いただきましたので、今後さらにA案について議論を深め、改築案の中にどのように反映出来るか考えていきたいと思っております。</p> <p>今後の進め方ですが、この懇談会だけではなくて、地域の皆さんに理解をしていただきながら進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、改築に関する情報についても、できる限り皆さんの議論に役立てるような形でお出しするということで事務局から話もしましたが、そういう形で進めさせていただければと思いますので、ぜひ皆さんで共有しながら議論が深まっていければと思います。</p> <p>先ほど事務局からもありましたけれども、今日発言できなかった部分はアンケートでお出しいただくなど、たくさんご意見を頂くことが今後の改築懇談会にとっていい形になるかと思いますので、ぜひご協力いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。またよろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第7回天沼中学校校舎改築検討懇談会を閉会したいと思います。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>